

鈴木議員 子どもたちの将来の可能性を広げるためには、学校教育の中でも新たな技術について学ぶことは非常に大切なことと考える。

特にドローンは、近年、社会の中で急速に浸透しており、災害現場や建設、農業など、その活用場面が

広がっている。地元市原市でも、消防では消防ロボットシステムのスクラムフォースで偵察ドローンを運用しており、また、臨海部の企業ではドローンをプラントの点検につかっているほか、農薬散布などでの活用もしている。市原市においても、ドローンを活用した情報収

集体制を構築し、迅速な災害対応に繋げるため、「外部団体と協定を締結した」と聞いている。

昨年12月の定例県議会の一般質問でも、執行部から「ドローンを活用した学びについても検討していく」との答弁をいただいたところである。

ことは、生徒の将来の進路選択にも役立つものと認識しています。

県立高校においては、成田西陵高校でドローンを用いた測量技術を学ぶ講習会を実施しているほか、市川工業高校で企業と連携し、プログラミングや飛行実習を行うなど、主に

特に職業系専門学科において、指導員の確保を図りながら、ドローンの教材育成に取り組んでいただくとともに、若い世代へしっかりと情報発信していくなど、要望する

りは、今後ますます重要なこととなると考える。

この道路整備の効果を最大限に生かし、まちづくりや周辺地域への波及・効果そして地域経済の活性化に繋げていくためには、千葉県が都市計画において地域の将来像を明確に示すことが必要である。

要
りが円滑に進められ
るよう、市町村のまちづくり
りと県が目指す方向性を
つかりとリンクしてもらひ
県ができることはしっかりと
と対応していただき、県で
対応できないものは、国に
機会をとらえでつかりと
要望していただきようお願
いしたい。

高校教育にドローンの活用を



自席から要望する鈴木議員

鈴木議員 市原都市計画
道路八幡椎津線は、地元で
は平成通りと呼ばれている
が、国道16号に平行して、
千葉市から袖ヶ浦市までを
結ぶ都市間幹線道路であり、
市原市の最重要路線にも位
置づけられており、今後の
まちづくりには不可欠な道

現在、市原市では街路事業として、五井地先から島野地先の区間において整備を進めており、今年度は小湊鉄道軌道下に立体横断施設を築造するという大規模な工事を実施しているところである。

市原市と千葉市の一部の未開通区間では、村田川を跨ぐ市境の区間は、先行して施工した橋桁の建設から約20年が経過しているにも関わらず、なかなか整備が進んでいない。この場所は、県の防災備蓄倉庫もある、千葉県消防学校

の近くでもあることから、災害時の輸送路の確保のためにも、早期の整備が必要である。

9月4日、国道16号が東原市五井地先において車道の陥没により、全面通行止めとなり、周辺道路へ迂回する車両で地域一帯に渋滞

計画道路八幡椎津線は、延長約13・3キロメートルの幹線道路であり、市原市は都市計画マスター・プランにおいて最重要路線に位置付けております。

まちづくり

そこで伺う。今後、県はインター・エンジ周辺のまちづくりにどのように取り組んでいくのか。

平成通りの早期整備を図れ

そこで伺う。市原都市計画道路八幡椎津線の早期整備が図られるようどのよに取り組んでいるのか。

ど、支援してまいります。
県にとっても、防
災や、まちづくりの
観点から重要な道路である

市（市原市、千葉市）の連携した取組を促進していくなど、機会をとらえて、早くようお願いする。

●千葉県、市原市に関するご相談・ご意見などお気軽にご連絡ください。

鈴木ともなり 県議事務所

〒290-0062 市原市八幡331-3 FAX.0436-42-2466 TEL.0436-43-1555